

県民生活に関する世論調査の結果について

- 1 調査主題 暮らし向きと県の広報広聴等に関する県民意識
- 2 調査目的 「暮らし向き」と県の「広報広聴活動」等に関する県民の意識や要望などを把握し、今後の行政推進の参考とする。
- 3 調査設計
 - 1) 調査地域 愛媛県全域
 - 2) 調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女
 - 3) 回答者数 400人
 - 4) 調査方法 インターネットを利用したアンケート調査
 - 5) 調査時期 令和5年9月27日～10月10日

4 概要

問1 県の広報活動の周知度

- ・「県ホームページ」40.3%
→女性で最多。50歳代以上で最多。
- ・「テレビ広報番組 えひめの愛顔発信 #ひめ推し（南海放送）」38.0%
→男性で最多。20歳代以下で最多。今治圏域で最多。
- ・「広報紙「愛顔のえひめ」（新聞折り込みによる広報紙）」33.8%

問2 県のテレビ広報番組の視聴経験

- ・「見たことがある」38.5%
- ・「見たことがない」61.5%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

問2-1 テレビ広報番組を見ての感想

- ・「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」27.3%
→今治圏域で最多。
- ・「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」54.5%
→男女共に最多。全年齢層で最多。今治圏域を除く全圏域で最多。
- ・「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」7.1%
- ・「番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい」6.5%

問2-2 見たことがない理由

- ・「放送されていることを知らなかった」65.4%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「仕事の都合などで、現在の放送時間では見るできない」16.7%
- ・「広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない」11.8%

問3 県のラジオ広報番組の聴取経験

- ・「週刊みきゃんラジオ（南海放送ラジオ）」7.8%
- ・「毎日こみきゃん便り（南海放送ラジオ）」6.0%
- ・「どれも聞いたことがない」88.5%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

問3-1 ラジオ広報番組を聞いての感想

- ・「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」39.1%
→女性で最多。40歳代・60歳代以上で最多。
- ・「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」43.5%
→男性で最多。30歳代以下・50歳代で最多。
- ・「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」8.7%
- ・「番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい」4.3%

問3-2 聞いたことがない理由

- ・「放送されていることを知らなかった」63.6%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない」18.4%
- ・「広報番組は画一的でおもしろみがなく、聞く気がしない」6.2%

問4 広報紙の周知度

- ・「知っていた」42.5% →60歳代以上で最多。
- ・「知らなかった」57.5%
→男女共に最多。60歳代以上を除く全年齢層で最多。全圏域で最多。

問4-1 広報紙への関心度

- ・「全体をよく読んでいる」12.4%
- ・「興味のあるところを選んで読んでいる」50.0%
→男女共に最多。30歳代を除く全年齢層で最多。
- ・「見出し程度しか読まない」20.0% →今治圏域で最多。
- ・「ほとんど読むことはない」11.2% →30歳代で最多。
- ・「まったく読まない」6.5%

問4-2 広報紙を見ての感想

- ・「紙面は見やすく、情報量も適当である」48.2%
→男女共に最多。20歳代以下を除く全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「紙面は見づらいが、情報量は適当である」21.8% →20歳代以下で最多。
- ・「紙面は見やすいが、情報量が少ない」16.5%
- ・「紙面は見づらく、情報量も少ない」4.7%

問5 県公式ホームページの周知度

- ・「見たことがある」60.8% →男女共に最多。全年齢層で最多。
- ・「見たことがない」39.3% →宇和島圏域・八幡浜・大洲圏域で最多。

問5-1 県公式ホームページの閲覧頻度

- ・「週に1回以上見ている」7.0%
- ・「月に1回以上見ている」26.7%
→30歳代で最多。今治圏域で最多。
- ・「1年に1回以上見ている」39.5%
→男女共に最多。30歳代を除く全年齢層で最多。
- ・「ほとんど見ない」26.7%
→20歳代以下で同率最多。八幡浜・大洲圏域で最多。

問5-2 県公式ホームページを見ての感想

- ・「見やすく、情報量も適当である」38.3%
→女性で最多。40歳代・60歳代以上で最多。
- ・「見づらいが、情報量は適当である」37.9%
→男性で最多。30歳代以下・50歳代で最多。松山圏域で最多。
- ・「見やすいが、情報量が少ない」9.1%
- ・「見づらく、情報量も少ない」9.1%

問6 県公式YouTubeや県公式SNSの周知度

- ・「県公式YouTube」13.3%
- ・「県公式LINE」13.8%
- ・「県公式X（旧Twitter）」7.5%
- ・「県公式Facebook」3.5%
- ・「見たことがない」76.8% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。

問6-1 県公式YouTubeや県公式SNSのフォロー状況

- ・「県公式YouTube」39.8% →30歳代・60歳代以上で同率最多。
- ・「県公式LINE」53.8% →男女共に最多。全年齢層で最多。
- ・「県公式X（旧Twitter）」25.8%
- ・「県公式Facebook」11.8%

問7 広報誌で取り上げてほしいテーマ

- ・「県の行事・イベント・施設の紹介」56.8%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「消費生活や暮らしに関すること」38.3%
- ・「介護や福祉、医療に関すること」28.5%

問8 県政情報の情報源

- ・「テレビ」41.5% →男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「県の広報番組（テレビ）」25.0%
- ・「県の広報紙」23.8%

問9 今後の広報活動の取組み

- ・「県の広報番組（テレビ・ラジオ）の充実（放送回数や放送時間の増）」36.0%
→男女共に最多。40歳代以上で最多。
- ・「県のホームページの充実」31.0%
→30歳代で最多。松山圏域・今治圏域で最多。
- ・「県の広報紙の充実（発行回数やページ数の増）」26.5%

問10 県政について知りたい情報

- ・「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」32.3%
→女性で最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「県の行事や催しものなどのお知らせ」27.0%
- ・「県の予算の内容と使いみち」22.3% →男性で最多。

問11 現在の愛媛県のイメージ

- ・「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」63.0%
→男女共に最多。全年齢層で最多。全圏域で最多。
- ・「不便である」26.3%
- ・「後進的である」21.3%

問12 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

- ・「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」46.8%
→男女共に最多。40歳代以上で最多。
- ・「経済や産業が盛んである」30.8% →30歳代で最多。宇和島圏域で最多。
- ・「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」28.5%

問13 県政への要望（教育面）

- ・「社会教育の充実」25.5% →男性で最多。60歳代以上で最多。
- ・「学校教育の充実」25.3% →女性で最多。50歳代以下で最多。
- ・「芸術、文化の振興」14.5%